



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キョウデン

コード番号 6881 URL <http://www.kyoden.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 鐘畿

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 鈴木 章浩

TEL 045-929-0501

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	18,845	△2.7	513	△38.7	358	△54.9	29	△93.4
24年3月期第2四半期	19,358	△2.8	837	△8.6	795	2.3	452	△58.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 29百万円 (△93.6%) 24年3月期第2四半期 459百万円 (△55.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	0.61	—
24年3月期第2四半期	9.30	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	40,029		10,231			25.5
24年3月期	39,324		10,348			26.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 10,216百万円 24年3月期 10,336百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	△4.3	1,100	△45.6	800	△58.3	100	△87.7	2.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	52,279,051 株	24年3月期	52,279,051 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	3,592,530 株	24年3月期	3,592,530 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	48,686,521 株	24年3月期2Q	48,686,521 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として緩やかな回復の動きが見られたものの、欧州債務危機等を背景とした世界経済の減速懸念の高まりや日中関係の悪化等、先行き不透明な状況が続いております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2.7%減の18,845百万円、営業利益は38.7%減の513百万円、経常利益は54.9%減の358百万円、四半期純利益は93.4%減の29百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(プリント配線基板事業)

プリント配線基板事業におきましては、世界的な景況感の悪化や新興国メーカーの台頭等で価格競争面においても厳しい状況となっております。自動車関連分野の回復がみられましたが、その他の分野の低迷の影響を受け減収減益となりました。

この結果、売上高は1.8%減の15,445百万円、営業利益は41.8%減の342百万円となりました。

(工業材料事業)

工業材料事業におきましては、混和材は需要が持ち直しつつあり前年同期に比べ販売量が増加しましたが、その他硝子長繊維原料等は需要が伸び悩み販売量は減少しました。

この結果、売上高は6.3%減の3,399百万円、営業利益は31.4%減の169百万円となりました

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、40,029百万円となり、前連結会計年度末に比べ704百万円増加しました。主な増減は、現金及び預金の増加624百万円、受取手形及び売掛金の減少521百万円及び建設仮勘定の増加887百万円であります。

負債の残高は29,797百万円となり、前連結会計年度末に比べ821百万円増加しました。主な増減は、社債の増加180百万円及び長期借入金金の増加633百万円であります。

純資産の残高は10,231百万円となり、前連結会計年度末に比べ116百万円減少しました。主な増減は、前期決算に係る配当金146百万円及び四半期純利益29百万円であります。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の当第2四半期連結会計期間末残高は9,301百万円(前連結会計年度末は8,677百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は1,603百万円(前第2四半期連結累計期間は823百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益360百万円、減価償却費685百万円及び売上債権の減少額853百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は1,039百万円(前第2四半期連結累計期間は526百万円の使用)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出1,049百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は78百万円(前第2四半期連結累計期間は213百万円の使用)となりました。これは主に、借入金の純増加額188百万円、社債の発行による収入489百万円、社債の償還による支出220百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出218百万円及び配当金の支払額147百万円によるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月15日に公表いたしました平成25年3月期通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成24年11月2日に別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,227	8,851
受取手形及び売掛金	10,830	10,308
有価証券	500	500
商品及び製品	1,112	1,048
仕掛品	1,076	1,027
原材料及び貯蔵品	2,295	2,239
その他	855	977
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	24,890	24,949
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,345	5,345
その他(純額)	5,845	6,755
有形固定資産合計	11,190	12,100
無形固定資産		
投資その他の資産	175	168
その他	3,150	2,893
貸倒引当金	△82	△82
投資その他の資産合計	3,068	2,810
固定資産合計	14,434	15,080
資産合計	39,324	40,029
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,826	4,879
短期借入金	6,996	6,252
1年内返済予定の長期借入金	3,174	3,509
未払法人税等	140	86
賞与引当金	476	480
その他	3,047	3,468
流動負債合計	18,661	18,677
固定負債		
社債	940	1,120
長期借入金	5,284	5,917
退職給付引当金	1,335	1,403
役員退職慰労引当金	1,307	1,292
負ののれん	276	154
その他	1,171	1,231
固定負債合計	10,314	11,120
負債合計	28,975	29,797

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,358	4,358
資本剰余金	4,159	4,159
利益剰余金	3,512	3,396
自己株式	△681	△681
株主資本合計	11,348	11,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	15
繰延ヘッジ損益	△1	△1
為替換算調整勘定	△1,047	△1,030
その他の包括利益累計額合計	△1,012	△1,015
少数株主持分	12	15
純資産合計	10,348	10,231
負債純資産合計	39,324	40,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	19,358	18,845
売上原価	16,060	15,881
売上総利益	3,297	2,963
販売費及び一般管理費	2,460	2,450
営業利益	837	513
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	1	1
負ののれん償却額	125	125
その他	139	82
営業外収益合計	272	214
営業外費用		
支払利息	178	185
持分法による投資損失	—	18
為替差損	68	70
その他	66	94
営業外費用合計	313	368
経常利益	795	358
特別利益		
固定資産売却益	—	2
退職給付制度改定益	13	—
特別利益合計	13	2
特別損失		
投資有価証券評価損	—	1
災害による損失	14	—
特別損失合計	14	1
税金等調整前四半期純利益	794	360
法人税、住民税及び事業税	104	69
法人税等調整額	235	257
法人税等合計	340	326
少数株主損益調整前四半期純利益	454	33
少数株主利益	1	3
四半期純利益	452	29

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	454	33
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	△21
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	15	14
持分法適用会社に対する持分相当額	—	2
その他の包括利益合計	5	△3
四半期包括利益	459	29
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	456	26
少数株主に係る四半期包括利益	2	3



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	794	360
減価償却費	723	685
負ののれん償却額	△125	△125
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5	67
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3	△14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	139	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	△1
受取利息及び受取配当金	△7	△6
支払利息	178	185
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△2
固定資産除却損	3	0
持分法による投資損益 (△は益)	—	18
災害損失	14	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△456	853
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△368	182
仕入債務の増減額 (△は減少)	△91	31
その他	297	△512
小計	1,108	1,727
利息及び配当金の受取額	5	7
利息の支払額	△176	△175
法人税等の還付額	56	227
法人税等の支払額	△110	△184
災害損失の支払額	△60	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	823	1,603
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△439	△1,049
固定資産の売却による収入	19	16
投資有価証券の取得による支出	△118	△13
その他	11	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△526	△1,039

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△779	△761
長期借入れによる収入	1,800	2,450
長期借入金の返済による支出	△1,413	△1,500
社債の発行による収入	685	489
社債の償還による支出	△150	△220
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△194	△218
配当金の支払額	△148	△147
その他	△12	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△213	78
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△18
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	73	624
現金及び現金同等物の期首残高	8,841	8,677
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,915	9,301

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プリント 配線基板 事業	工業材料 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,729	3,628	19,358	—	19,358
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,729	3,628	19,358	—	19,358
セグメント利益	588	247	835	1	837

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去1百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プリント 配線基板 事業	工業材料 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,445	3,399	18,845	—	18,845
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,445	3,399	18,845	—	18,845
セグメント利益	342	169	512	1	513

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去1百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益がそれぞれ「プリント配線基板事業」で2百万円、「工業材料事業」で1百万円増加しております。